

2022.9.20.tuesday

学修・教育開発センター（CRED）

今年度より狭山校舎でも全学科で自校教育科目が実施されています。方法論、細部は板橋校舎と違えど、同じ東京家政大学生としての学びに変わりはありません。本号では、狭山校舎での取り組みについてご報告をいただきます。

健康科学部の取り組み

健康科学部では今年度より、看護学科・リハビリテーション学科の学生がともに学びました。「医療従事者に必要なこと、女性だからこぞできることについての課題を考える」という健康科学部ならではのテーマ設定が行われ、学科混在であることから、昨年度に比較すると意見の幅も広がり、活発なディスカッションが行われました。学生からは、「相手の思いを傾聴することが医療従事者としても大切であると感じた」などの感想が寄せられました。

担当教員レポート



磯直樹 准教授
リハビリテーション学科

本学科では、スタートアップセミナー自主自律の授業を開始して3年目となりました。大きな変化として、今年度は健康科学部としての共同科目となり、受講者数が200名を超える授業となり、3~4教室をオンラインで接続して実施しました。新型コロナウイルス感染予防に努めながら、いかに学生同士の学びを支援できるか、教員一丸となって共に試行錯誤した授業であったと思います。

この授業では共同学習に重きを置いて、これから大学でどのように学んでいくのか、どのような医療従事者を目指すべきかを考える機会としていますが、高校生

までとは異なった学習方法に戸惑った方もいたかと思います。そのような中で、健康科学部に所属する学生同士が課題を解決するためにディスカッションを深めている姿を見たり、取り組んだ課題の成果発表を聞くことが我々の励みになりました。また、SAの方が先輩としての姿を見せてくれたことも今後の大学での学びをイメージすることに繋がったのではないかと感じました。

今後も4年間を通して学生の学びをサポートしていけるように取り組んでいきたいと思っています。

授業の感想を紹介します

授業アンケートの自由記述の中から、いくつかのコメントを紹介いたします。

- 普段あんまり交流できない、他学科の子とのコミュニケーションの場を持つことが出来たし、看護だけでなくリハビリ視点の意見など色々な意見を聞くことが出来た。
- 最初は、この授業が億劫だったのですが、段々楽しくなり、学科を超えた交流ができたので良かったです。
- 自分の将来の職業について深く考えることができた。また女性ならではの特性も理解することができた。
- 他の学部の人と交流する機会もあり、楽しかった。女性の社会進出について、女性らしく、女性ならではの視点から話し合えて良かった。
- この講義がなかったら作業療法や理学療法学科の人たちと関わりがなかったと思うので様々な人たちと関わることが出来て良かったです。

子ども学部取り組み

子ども学部では板橋校舎や健康科学部と異なり子ども支援学科の学生のみの科目となるため、第一回授業の中で、子ども支援学科の特徴を考える時間が設けられています。

また、後半の社会パートにおいては「女性の活躍を阻むもの」というテーマにそって学生は意見交換、発表を行いました。

担当教員レポート



五十嵐淳子准教授
子ども支援学科

本学科の「スタートアップセミナー 自主自律」授業の取り組みは4年目となりました。今までのコロナ禍の授業においてmanabaを活用した経験を活かし、manabaを取り入れた形態の対面形式の実施となりました。

授業では、学園の創設者である渡辺辰五郎先生の出生から和洋裁縫伝習所の設立までの映像や卒業生の講話等、大学の歴史を学ぶ機会に熱心に耳を傾ける学生の姿が見られました。学生自身が入学した東京家政大学に自信と誇りを持って学びをスタートしている瞬間に立ち会えた

ことは、授業者冥利に尽きる貴重な瞬間でありました。

最初の頃はPCやmanabaの操作に戸惑っている学生もおりましたが、学生同士で教え合い、学び合う姿が見られ、毎回のグループワークを積み重ねた学びの集大成として、最終授業では各グループが試行錯誤しながらも素晴らしいプレゼンテーションを発表してくれました。

毎回のグループディスカッションを通して、相手の意見を受け止めながら自分の意見を伝えていくという実践は鍛錬に励む場となり、今後の学生生活の学びの礎になると考えています。

授業の感想を紹介します

授業アンケートの自由記述の中から、いくつかのコメントを紹介いたします。

- 最後のプレゼンのスライド作成はとても大変だった。しかし終わった時の達成感もとても大きかった。苦しんで答えを見出した時の喜びを忘れないようこれからも過ごしていきたい。
- 様々な視点から家政大学の歴史、女性の歴史、自主自律などをチームで協力しながら毎回のテーマに取り組むことができました。難しい内容もありましたが、自分なりに調べたり、他のメンバーの意見を聞くことで頑張ることができました。また、みんなの前で自分の意見を発表する機会が毎回あり、人前に立って何かをするということの苦手意識が少し消えました。保育者も子どもたちの前に立って保育を行なっているのでとても良い経験ができたと思っています。
- この授業が無ければ、関わらなかった人が沢山いました。初めて関わって、何か一つのことを達成するためにはコミュニケーションが大切ということもよく分かりましたし、それが難しいということも実感しました。これからは保育士にとって大切なコミュニケーション能力を、グループ活動などを通して伸ばしていきたいと思います。
- 社会問題について、主体的に調べたことがあまりなかったので、内容の濃い授業になりました。自分だけでなく、グループのメンバーと意見交換をする機会があって良かったです。大学について学ぶ機会もあって、自分の今後の計画を立てることができました。

スタートアップセミナー自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎 百周年記念館1階）

TEL : 03-3961-0284 E-mail : startup@tokyo-kasei.ac.jp